

NO 7	レジリエンス住宅改修先導プロジェクト	一般社団法人 くまもと型住宅生産者連合会		
提案概要	熊本を中心に九州で活動する地域工務店グループによる戸建住宅の改修プロジェクト。省エネやレジリエンス性などに関するチェックリスト等を活用し、省エネ基準を上回る断熱性能など、体系的な性能向上改修を展開し、省CO2とレジリエンス性の向上を実現する住宅の普及を目指す。			
事業概要	部門	改修	建物種別	住宅(戸建住宅)
	建物名称	—	所在地	—
	用途	戸建住宅	延床面積	—
	設計者	—	施工者	—
	事業期間	平成30年度～平成33年度		

概評 改修前後で各種チェックリスト等を活用し、建築主の意識向上や情報共有を図りつつ、設計への反映と改修後の住まい方を啓発する取り組みや設計から性能検証までの改修プロセスは、実効性があると評価でき、グループとして展開を図ることで波及・普及効果が期待できると評価した。

参考図

国土交通省 既存住宅状況調査技術者による現地インスペクションの実施



改修前 現地でのインスペクションの実施

国土交通省 ハザードマップポータルサイトの活用 災害リスク情報の確認

災害危険性の確認、避難先・避難ルート、避難方法の検討等

立地環境・周辺環境の把握に加え、CASBEEレジリエンス住宅チェックリストQ13～Q26(Q24を除く)に対応した災害リスク情報の確認に、国土交通省ハザードマップポータルサイトを活用する。



本プロジェクトで目指す気密測定値 改修版 自立循環型住宅への設計ガイドライン 気密グレード3 推奨 (相当隙間面積 4.1cm²/m²(3.0～5.3)以下)



改修後 気密測定の実施

